

第50回IBMユーザー論文  
論文審査

1. 論文委員会ならびに論文審査委員会では、下記の観点から審査し、受賞対象論文を選定します。

論文区分により評価項目が下記のように異なります。

事例型論文の審査

【貢献度】

自社貢献は当然のこととして、自社以外にも有効で貢献度が高いことを重視します。

【独自性 / 先進性】

全体を通じて独自の考え方がみられ、情報システムに関して新しいアイデアが盛り込まれているか、情報システムの将来方向を先取りし、内容および成果に先進性があることを重視します。

【実証性】

技術的裏付けおよび費用効果が明確に述べられ、現在および近い将来に具体化され、その効果が実証されることを重視します。

【表現力】

文章の構成がよく、分かりやすさ、読みやすさ（図表の使い方、誤字脱字がない、字数を守る等）、論文としてまとまりがあり、起承転結が明確なことを重視します。

提言型論文の審査

【先進性】

情報社会における今後の方向を示唆する新しい考え方、方法、手段が明確に述べられ、情報システムの将来方向を示唆、明確に提言していることを重視します。

【有効性】

情報システムにかかわる分野等の発展に寄与できるといった、有効性が認められることを重視します。

【実現性】

単なるアイデアではなく、情報システム分野において近い将来、実現可能となる、もしくは実行可能となることが認められることを重視します。

【表現力】

文章の構成がよく、分かりやすさ、読みやすさ（図表の使い方、誤字脱字がない、字数を守る等）、論文としてまとまりがあり、起承転結が明確なことを重視します。

## 2.最終審査方法について

特別賞、金賞、銀賞の最終審査は、論文審査委員会で行ないます。

## 3.審査結果の発表について

論文審査結果は、2012年4月初旬までに執筆者に通知します。

入賞論文（特別賞、金賞、銀賞、銅賞）の代表執筆者を、2012年5月に福岡市で開催される「第50回IBMユーザー・シンポジウム」へご招待します。

特別賞、金賞、銀賞を受賞された論文はシンポジウム会場で発表をしていただきます。また、銅賞を受賞された論文は「ポスター論文発表」としてシンポジウム会場で発表をしていただく予定です。

詳細は「IBM USERS（機関紙）」およびホームページに掲載します。